



熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和3年8月号



目前の衆院選にあたり

皆さんがこの広報誌を手にとっているのはオリンピックの最中、もしくは閉会直後と思われます（7月25日執筆）。

コロナ感染初確認から一年七ヶ月が経過し、この間、感染拡大防止のため地域の四季折々の行事が中止、私自身のイベント・活動も停止、制限を余儀なくされ、皆さんと接する機会もほぼ皆無になりました。そこで毎月発行している広報誌の更なる充実に取り組み、6月の一般質問の際は皆さんの視点を取り入れるためのアンケート調査を実施して臨みました。

今日までの『コロナ禍』を振り返ると新規陽性者数に一喜一憂する日々が続き、私たちは自粛疲れと度重なる「正念場」「瀬戸際」「山場」の呼びかけに感度も次第に鈍くなりました。またここにきて変異型による感染者の急増やワクチンの遅配といった新たな混乱が生じ不安を助長させました。その一方で接種の進捗、完了に伴い国民の心境も安堵、希望が僅かですが芽生えつつあるようにも思えます。

コロナはデジタル化はじめ我が国の弱点を次々浮き彫りにし、従来の当たり前の日常を崩壊させました。「先進国と違っていたのに：」多くの国民は他国と比較して少なからず落胆を覚えたと思います。また五輪を巡る一連の迷走は組織のあり方、危機管理対応、そして人権意識が問われることになりました。私見ですが恐らくコロナ終息、五輪閉会を機に医療福祉はじめ国の存続、これからの発展のための様々な検証が行われ、同時に今の政官界のあり方に対しても必ずや軌道修正が求められるでしょう。そして

その時の先導役を果たすのが
私は野田たけし代議士と
確信しています。



←裏面へ続きます

記憶に新しい熱海の土石流災害然り、列島はいつ何時災害が我が身に降りかかるか予断を許しません。

熊本県は現在、

- ① コロナ
- ② 熊本地震
- ③ 県南豪雨災害



からの復興と3重苦の只中にあります。これまで他県の災害復興と比べてもスピード感を持って着実に進んでいる背景に野田代議士の存在があったことは申し上げるまでもありません。そのことは県議会議員として現場に居合わせた私が一番承知しています。

日本、そして熊本県が平時であればまだしも記したように未だ緊急事態の最中にあります。だからこそ

私は来る衆院選において今一度野田たけし代議士を支援します。

衆院選の時期については10月21日の任期満了を考えると、パリリンピック閉会後の9月以降と思われる。するとそれまでの日数や今後の『第5波』の感染推移、ワクチン接種状況を鑑みるとこれまでと全く異なる選挙戦が予想されます。故に引き続き皆さんに直接お目に掛かってお話しする機会が極めて限られますので、私の衆院選に対する思いの一端を披瀝した次第です。

結びに近年、国・地方問わず多くの選挙で投票率の低下が懸念されています。コロナはそれぞれのリーダーの考え方、対応策や決断で結果が大きく異なることを露呈しました。貴重な投票権を無駄にすることなく、投票所に足を運んで行使していただきたいと思えます。

衆議院議員野田たけしの選挙区です

熊本県 第2区

荒尾市	玉名市
玉名郡	
玉東町	和水町 (熊本県三田郡)
南関町	長洲町
熊本市 (西区・南区)	

熊本市は以下の地区です

※校区別の地図です。

新たな選挙区

- 熊本市西区池田
- 旧富合町
- 旧城南町

1区へ編入した区域

- 中央区の一新区の一部
- 本荘校区
- 春竹校区
- 向山校区

